

第26回
福岡県立太宰府高等学校
同窓会総会のご案内

卒会

平成26年8月9日(土)
18時～(受付:17時30分～)

総会:アクア博多3階
懇親会:グラナダスイート
福岡市博多区中洲5丁目3-8

※総会と懇親会の会場は別々ですので、ご注意ください。



第25回同窓会総会懇親会の模様

毎回、懐かしい卒業生が集まり、盛大に開催されています。

今年の担当期は17期・24期・26期生です。

同窓会総会プログラム

受付	17:30～ (アクア博多3階)	卒業期別に受付窓口をご用意しております。
総会	18:00～18:45 (アクア博多3階)	●開会 ●校歌斉唱 ●会長挨拶 ●名誉会長挨拶 ●議事審議
懇親会	19:00～21:00 (グラナダスイート)	恩師や同級生とご歓談をお楽しみください。 商品総額10万円の大抽選会を開催いたします。

※総会は川沿いの入口から、懇親会は明治通り沿いの入口からお入りください。

参加申し込み方法

会費 1期生～15期生2,000円、16期生～23期生1,000円

24期生～26期生・旧・現職員無料。(当日、受付にて徴収します。)

申込方法 同封のハガキに必要事項を記入し、事務局までご返送下さい。

※総会の出欠は卒会ホームページもしくは右記のQRコードからも連絡できます。

申込締切 平成26年7月25日(金)必着

「会場のご案内」GRANADA SUITE



■電車ご利用の場合

- 福岡空港から地下鉄で中洲川端駅まで約9分
- JR博多駅から地下鉄で中洲川端駅まで約3分
- 地下鉄空港線中洲川端駅(2番出口)から徒歩1分

■バスご利用の場合

- 西鉄バス「中洲」から徒歩2分
- 西鉄バス「東中洲」から徒歩1分

■車ご利用の場合

- 福岡空港から車で約20分
- JR博多駅から車で約5分
- 福岡都市高速「呉服町IC」より車約3分
- 福岡都市高速「千代IC」より車で約8分

※お車でのご来館の際は近隣のコインパーキングをご利用ください。



第26回同窓会総会
出欠専用フォーム

福岡県立太宰府高等学校内同窓会「卒会」事務局

〒818-0122 福岡県太宰府市高雄3丁目4114番地

TEL092(921)4001/FAX092(928)0758

URL <http://dhs-saikai.com/> e-mail info@dhs-saikai.com

ご注意

- ★同封しておりますハガキにて、必ず出欠のご返事をお願いします。
- ★お子様連れもOKですが、託児所はご用意しておりません。
- ★飲酒をされる方のお車でのご越しはご遠慮ください。
- ★未成年者の喫煙及び飲酒は固く禁止いたします。



第26回 福岡県立太宰府高等学校同窓会総会のご案内

第13号

卒会

Home Coming Day

日時/平成26年8月9日(土)18時～
(受付:17時30分～)

場所/GRANADA SUITE
福岡市博多区中洲5丁目3-8 アクア博多3F

ホームページ <http://dhs-saikai.com/> 卒会 検索

ごあいさつ



夏本番を告げる小暑、七夕の頃、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。年に一度、卒高卒業生が再会するイベント、同窓会総会を、本年は、第17・24・26期生を中心に全卒業生を対象として開催する運びとなり、ここに謹んでご案内申し上げます。

今回で26回目を数える総会ですが、ここ数年、卒業期一桁台の参加が大幅に増え、在校当時共に過ごした懐かしい顔との再会に喜びと驚きを感じる場面が多々あります。

また、学校行事に参加した折には、在校生の保護者となった卒業生と遭遇することもあり、開校以来、30年の時の流れを強く感じています。来年、平成27年度は、母校創立30周年の節目の年です。私たち1万余の卒業生が代々築きあげてきた伝統の上に、今まさに在校生たちが新たな歴史の1ページを刻もうとしています。

そうした時節を迎え同窓会としましては、母校を強力に後援するべく、周年事業運営に人的協力するとともに、事業を支える資金面においても可能な限りの支援を行いたく、総会において審議を予定いたしており、会員の皆様の深いご理解を得て、支援実施の推進力にしたいと考えております。

総会当日は、懐かしい友や恩師と大いに語り、古き良き思い出に心を遊ばせ、忘れられぬ楽しい夜をお過ごしいただきますことを心よりお祈り致しております。

福岡県立太宰府高等学校同窓会 会長 柳原 莊一郎



太宰府高等学校同窓会の会員の皆様におかれましては日頃から本校教育に深い御理解と温かい御支援を賜り、心から感謝申し上げます。

本年4月に本校校長を拝命いたしました。平成21年度に本校教頭職に在りましたので、こうして戻って来ることができたことを大変喜んでおります。思い入れのある当時の生徒達の母校を守り、その後輩を預かっているのだと思うと、校長としての日々の業務にも知らず識らず力が入ります。

「母校」は格別です。英語では“alma mater”(アルマ・マータ)と言います。元々はラテン語で、「育て、慈しんでくれる母」という意味であり、母校を女神になぞらえ、褒め讃える言葉です。そして、その「母校」の校歌も“alma mater”と言われます。社会に出て自立するのに必要な知識や技能、思考力、判断力や表現力、豊かな人間性を培ってくれた「母校」は、生涯にわたりかけがえのない“alma mater”であると言えます。

本校は、本年度で創立以来29年の歳月を経て、いよいよ創立30周年を目前に控えております。卒業生数は昨年度1万人を越え、現在29学級という大規模校となりました。今年も、日々の授業や学校行事、放課後の部活動等を通して、生徒諸君の着実な成長がうかがえます。同窓会の皆様におかれては、折々に御来校いただき、後輩諸君への激励をいただければ幸いです。

第26回同窓会総会において高らかなる“alma mater”(校歌)で太宰府高校の繁栄をお祈りいただきますようお願いするとともに、同窓会の一層の御発展、会員の皆様の御健勝を御祈念申し上げます。

福岡県立太宰府高等学校 校長 江口 也文

◆◆◆ 学校報告 ◆◆◆

射撃部 西彩花さん(3年)



国際大会で活躍しています



野球部
第96回全国高校野球大会
福岡県南部予選
太宰府 対 沖学園
7月6日(日)9:30~
試合会場:大牟田延命球場

応援お願いします



剣道部
玉竜旗高校剣道大会
7月27日(日)8:00~開会式
試合会場:マリンメッセ福岡

水城・大野城・基肆城 築造1350年記念事業
福岡発市民ミュージカル

ASUKA

時代は7世紀、日本の黎明期である天智・天武天皇の時代を、筑紫に住む少女「アスカ」と、白村江の戦いに敗れ筑紫に逃れてきた百済の青年貴族「アグリ」との恋を縦糸に、過酷な時代を生き抜き、水城を造った人々の物語です。この福岡の物語を、福岡在住の各専門分野で活躍されている方々でミュージカルとして創りあげ、オーディションで選ばれた福岡の市民が演じました。このミュージカルASUKAの題字「1350水城大堤」「ヤマトへの飛翔」などミュージカルに関する13作品を揮毫しました。



ミュージカルASUKAの
題字を揮毫

全13作品

卒業生1万人突破!!



昭和63年に第一回卒業式が行われ28年が経過しました。昨年度ついに卒業生も1万人を突破し、10170人になりました。

そこで、同窓会として2月28日の同窓会入会式の際に卒業10000号の方に賞状と記念品を贈呈いたしました。



創立30周年記念

平成27年度には、母校も創立30周年を迎えます。同窓会会長が実行委員長として、母校の記念式典などに協力していきます。

来年度は制服が...



射撃部
九州高等学校ライフル射撃競技選手権大会(H26.6.13~15)

男子団体3位



書道部
個人・団体「2位」



※6月17日の西日本新聞に掲載されました

第15回高校生国際美術展書道の部団体で5年連続の「優秀賞」に選ばれました。個人賞でも3年生の松崎梓さんが文部科学大臣賞に入りました。

吹奏楽部



吹奏楽部ガーデンコンサートは毎月1回、昼休みにコモンホールで行われます。毎回、練習した新しい曲を演奏して、校内を明るく楽しい雰囲気してくれます。また、3月末には「定期演奏会」を行い、3年生は高校生活の集大成として観客の前で素晴らしい演奏を披露しています。

第29回

飛梅祭

平成26年
6月7日(金)・8日(土)

ステージでは合唱コンクール・英語劇をはじめ、有志によるパフォーマンスが熱演されました。



第27回 卒業制作展

日程 平成27年1月27日(火)~2月1日(日)
場所 福岡県立美術館
本年度のテーマは「本日も晴展なり。」

第26回 卒業制作展in福岡市美術館

共奏



思い出してください!

前回の卒業制作展には、1,500人の入場者もあり、生徒による作品の解説や案内もやっていますよ。

あの頃の思い出を観に行きませんか?

第29回 体育祭

平成26年9月6日(土)

場所:太宰府高等学校グラウンド

第28回バックボード

赤ブロック



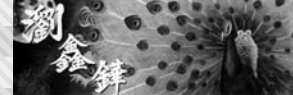
芸術科伝統のバックボードは健在!!

青ブロック



女子綱取り、男子棒倒し、騎馬戦、部活動リレーなど各種目真剣勝負です。お時間のある方は足を運んではいかが。

黄ブロック



卒業生寄稿

23期生 友田 彩香

私は、3年前、太宰府高校の英語コースを卒業しました。そして今年度、保健体育科の教育実習生として戻り、多くのことを学ばせていただきました。

私の高校生活は、自信を持って「充実していた」と言えます。飛梅祭の英語劇では主役を演じ、オーストラリア語学研修を経験し、体育祭では副ブロック長を務めるなど、内容の濃い時間を過ごしました。進路決定においても、それぞれの目標を先生及びクラスメイトで応援しあい実現することができたと思います。私は、全ての時間を全力で楽しんだことで「太宰府高校」が大好きでした。

そして教育実習生として戻ってきて、全学年の体育の授業で多くの生徒と関わりました。意欲的に取り組む姿が印象的で私自身も、体育の授業の楽しさを再認識し、生徒からもたくさんのことを学ぶことができました。

多くの生徒と関わっていく中で、先生方の偉大さ、大変さを身を持って感じました。生徒には同じように高校を楽しみ、貴重な時間を大切にしてほしいです。この教育実習の経験を通して今まで携わってくださった先生方に感謝の気持ちを持ち、これからも努力に励んでいきたいです。

23期生 森 仁美

太宰府高校での実習は、教師として指導者としての気持ちや生徒への接し方など、大切なことをたくさん学んだ有意義な3週間でした。

私は、23期芸術科の卒業です。実習で太宰府高校に戻ってくることは楽しみでしたが、実際に指導案や評価基準、生徒の興味をひくにはどうしたらいいのかなど考え、悩むことがたくさんありました。授業だけでなく生徒とのコミュニケーションや教師と生徒の間の立ち振る舞いと態度、言葉の選び方など信頼関係を築き、常に生徒が有意義に学べる環境を作り上げサポートすることが、教師としての在り方だと自分自身学ぶことが出来ました。

また、生徒達は合唱コンクールや文化祭の行事にも積極的に参加して、みんなでよりよいものを作ろうとし、とても素直でいい子ばかりでした。先生方からもたくさんの指導、授業風景を見学させてもらい、生徒の時にはわからなかった先生方の仕事内容、生徒に授業を集中させるような話術、授業以外のさまざまな一面を見ることが出来て、本当に感謝しています。教育実習ではないと見ることが出来ない場面やいろいろな学校の活動を体験することができて実習してよかったと思います。